



令和6年1月29日 峰山中学校

1月29日～2月3日は 峰中の **学校給食週間** です。

この1週間を通して、食べ物や給食を作る人に感謝し、これから一生続いていく「食べること」の大切さについて学びましょう。

日本の学校はいつ始まったの？

明治時代に山形県鶴岡市で お弁当を持って来られない子ども達のために 簡単な食事を学校で用意したのが、学校給食の始まりです。



今では学校給食は単なるお昼ごはんではありません。内容がとても豊かになり、食文化、産業、マナーなど いろいろなことを学ぶ場にもなっています。

私たちが食べているのは、いろいろな食べ物の命です。そして、たくさんの人たちが関わって給食が私たちのもとに届けられています。どんな人たちがいるのか、裏面を見てみましょう。

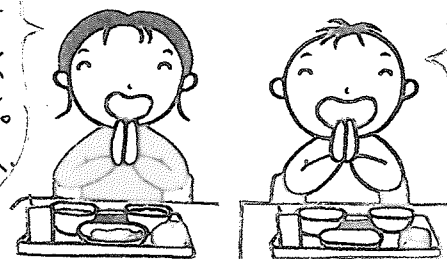
できていますか？ **毎日の給食時間を振り返ってみましょう。**

- ★ 配膳を早く済ませると、ゆとりを持って食べられます。まずはワゴンを早く取りに行って、みんなで協力して配膳を済ませましょう。
- ★ 給食は 衛生面にとっても気を付けて作られています。身支度、手洗い、手の消毒、台ふきをきちんとしてから配膳しましょう。
ハンカチを持って来よう。
- ★ 配膳中は用事が無ければ席について静かに待ちましょう。放送が始まったら、静かに聞きましょう。
- ★ 苦手なものも、自分が決めた量は食べられるよう努力してみましょう。
- ★ 毎日、洗ったはしを持って来ましょう。

他にも自分のクラスで気を付けなければいけないことは ありませんか？

食事のあいさつは 心をこめて!!

いただきますは、食べ物の命をいただくことに感謝する言葉です。また、食材を作ってくれた人、料理を作ってくれた人に対して感謝する言葉です。



ごちそうさまは、「ご馳走様」と書きます。馬を馳せ、走りまわって食べ物を集めて食事を準備してくれたことに感謝する言葉です。

給食週間の取組

- 動画「給食室をのぞいてみよう」を最初の4日間 給食時間に視聴します。ナレーションは 給食委員です。
- 先生たちの給食の思い出と食のメッセージを放送で紹介し、掲示します。
- 食育の授業（栄養教諭 土田先生と一緒に学習します）
- 世界の料理、日本各地の郷土料理の特別献立

給食が私たちの口に入るまでに...

毎日お昼になると給食室からとどけられるおいしい給食。給食が出来上がって私たちの口に入るまでには、こんなにたくさんの人たちの力にささえられているのです。

たくさんの人たちの願いが聞こえますか？

